

## 「JFS 規格（フードサービス・マルチサイト） [組織に対する要求事項] Ver.2.0」の概要

一般財団法人 食品安全マネジメント協会

### 1. JFS 規格（フードサービス・マルチサイト）規格要求事項 Ver.2.0 への改定の目的

フードサービス関連事業は、食中毒の発生に占める割合が多く、リスクが高い業種である。しかし、フードサービスに関連する食品安全規格は少ないのが現状である。また、フードサービス事業では、多店舗展開を行っている事業者が多く、多店舗展開を行う事業者向けの食品安全規格は必要とされている。

JFSM では、2021 年 3 月 31 日に JFS 規格（フードサービス・マルチサイト）Ver.1.0 を発行している。2026 年 8 月 15 日現在、フードサービス・マルチサイトの適合証明は、4 組織（1,029 サイト）となり、拡大してきている。

一方、JFS 規格（フードサービス・マルチサイト）Ver.1.0 発行からこれまでの間に、JFS 規格（フードサービス）Ver.2.0 への改定、JFS-C 規格 Ver.3.0、3.1、3.2 への改定、JFS-A/B 規格 Ver.3.0 への改定、JFS-B Plus 規格の新設があった。規格要求事項の内容、項目名、項番など整合していないところが多くなってきた。他の JFS 規格との整合を図り、フードサービスにおける食品安全に寄与するため、改定する。

### 2. JFS 規格（フードサービス・マルチサイト）規格要求事項 Ver.2.0 の主な改定のポイント

#### (1) JFS 規格（フードサービス・マルチサイト）規格要求事項 Ver.2.0 の改定のポイント

##### ① 食品安全文化の追加

- ・FSM 2 で経営者または経営層の食品安全の宣言と食品安全文化を育てる要求事項を追加している。JFS 規格（フードサービス）Ver.2.0、B Plus 規格、C 規格の FSM 2 として要求されていて、この内容を取り入れ、経営層のコミットメントを分かりやすい表現として盛り込んだ。
- ・食品安全文化は、すべての食品事業者で醸成が必要と判断し、追加した。フードサービス・マルチサイトの組織が理解しやすいように、JFS 規格（フードサービス）、B Plus 規格、C 規格の FSM 2 の一部を変更している。

##### ② 食品偽装項目の追加

- ・FSM 8 で食品偽装防止対策の要求事項を追加した。JFS 規格（フードサービス）Ver.2.0、B Plus 規格、C 規格の FSM 8 として要求されている。食品偽装は、マルチサイトのフードサービス事業者でも起こり得ることから、JFS 規格（フードサービス）Ver.2.0、B Plus 規格、C 規格の内容を参考に、マルチサイトのフードサービス事業者には負担にならないよう配慮した要求事項とした。

##### ③ 「強化が必要な危害要因の管理」の追加

- ・JFS 規格（フードサービス・マルチサイト）Ver.1.0 では、GMP-GM8「汚染リスクの特定、管理」という要求項目があったが、解釈が難しい面があった。Codex 委員会が、GPFH2020、

2022 で考え方を示している「より大きな注意が必要な GHP (JFS 規格では GMP)」(Greater Attention) を、JFS-A/B/B Plus/C 規格および JFS 規格 (フードサービス) ではすでに要求に取り入れていることから、JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) 規格要求事項 Ver2.0 でも取り入れることとした。

- ・要求事項は、JFS-B Plus/C 規格の要求事項を参考にしながら、フードサービスの事業者に分かりやすい表現にしている。

#### ④ Codex HACCP GPFH2022 の取り込み

- ・すでに、JFS-B Plus/C 規格では Codex HACCP GPFH2022 を規格に反映している。JFS 規格 (フードサービス) Ver.2.0 では、HACCP の弾力化は Ver.1.0 を踏襲しながら、HACCP 手順 1 で適用範囲の特定、手順 11 で、HACCP プラン実施前に妥当性確認を行うことを要求に取り入れ、Codex HACCP GPFH2022 対応になるようにしている。JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.2.0 も JFS 規格 (フードサービス) Ver.2.0 と同様の考え方にに基づき導入する。

#### ⑤ 要求事項の項番、項目、表現の変更 (JFS-A/B/B Plus/C 規格および JFS 規格 (フードサービス) 規格要求事項 Ver.2.0 に整合)

- ・JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.1.0 の要求事項の項番や項目は、2021 年当時の JFS-A/B 規格 Ver.2.0 に合わせていた。JFS-A/B 規格が Ver.3.0 に改定される際に要求事項の項番や項目が変更されたため、JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.1.0 は異なる要求事項の項番や項目となっていた。
- ・JFS-A/B/B Plus/C 規格および JFS 規格 (フードサービス) 規格要求事項 Ver.2.0 の要求事項の項番や項目を参考に修正し、整合させた。また、料理を調理品に変更、GM の削除等の用語の変更も行った。

#### (2) JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.2.0 ガイドラインの主な特徴

- ・従来の「要求事項」「考え方、具体的事例」「食品安全に係る法令規定事項で参照すべきもの」を、要求事項ごとにまとめている。
- ・JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.1.0 ガイドラインの HACCP では、要求事項に沿って 4 つのフローダイアグラムを示したが、この 4 つのパターンに対応する危害要因分析例を示し、より理解しやすいように表現している。

### 3. JFS 規格(フードサービス・マルチサイト)Ver.1.0 から Ver.2.0 への移行について

Ver.1.0 から Ver.2.0 への移行の期限は、2027 年 12 月末日までとなります。

#### 対象文書

JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) [組織に対する要求事項] Ver.2.0

JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.2.0 [ガイドライン] Edition 1.0

#### 参考資料

JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) [組織に対する要求事項] Ver.1.0 と Ver.2.0 対比表

JFS 規格 (フードサービス・マルチサイト) Ver.2.0 チェックリスト

以上